

第15回 奈良甲状腺研究会

<ご挨拶>

この研究会は一般臨床医に甲状腺疾患を身近なものとして理解していただき、積極的に診断と治療にアプローチしていただくことを目的に立ち上げた研究会です。

今回は、伊藤病院 内科部長 渡邊奈津子 先生に粘液水腫の治療について、ご講演を賜る予定です。

ぜひこの機会に日頃甲状腺疾患について抱いておられる疑問を質問していただければ幸いです。

当番世話人 上嶋 昌和

日時：2025年9月6日(土) 午後3時45分から午後7時00分

会場：かしはら万葉ホール 研修室2

奈良県橿原市小房町11番5号 TEL:0744-29-1300

会費：1,000円(学生は無料)

専門医認定：日本内分泌学会内分泌代謝科専門医認定更新単位 2単位取得

製品紹介 (午後3時45分～午後4時00分)

『チラーヂン静注液200 μ gについて』 あすか製薬株式会社 学術情報担当 石田 美幸

一般演題 (午後4時00分～午後5時20分)

座長 生駒市立病院 糖尿病内科 部長 岸谷 譲 先生

1) 健康診断を契機に偶然発見された甲状腺ホルモン不応症の一例

奈良県総合医療センター 糖尿病・内分泌内科 森口 拓磨 先生

2) 血漿交換後の甲状腺全摘手術によって救命し得たアミオダロン誘発性甲状腺中毒症1型の1例

奈良県立医科大学附属病院 糖尿病・内分泌内科 柵木 健吾 先生

3) 粘液水腫性昏睡の治療を行うも救命できなかった1剖検例

奈良県総合医療センター 糖尿病・内分泌内科 池 茉美香 先生

4) 年末に来院し大量の心嚢液貯留により呼吸停止するも救命できた粘液水腫性昏睡の1例

中井記念病院 上嶋 昌和 先生

教育講演 (午後5時30分～午後5時50分)

座長 近畿大学奈良病院 耳鼻咽喉・頭頸部外科
准教授 太田 一郎 先生

演題 『甲状腺腫瘍の穿刺吸引細胞診について』

演者 奈良県総合医療センター 糖尿病・内分泌内科
部長 上嶋 昌和 先生

特別講演 (午後6時00分～午後7時00分)

座長 奈良県総合医療センター 糖尿病・内分泌内科
部長 上嶋 昌和 先生

演題 『粘液水腫性昏睡の診断と治療～予後改善へむけて～』

演者 伊藤病院 内科部長 渡邊 奈津子 先生

共催：奈良甲状腺研究会 あすか製薬株式会社